

和

ハーモニー



2022年1月
新春号

新春のご挨拶

中谷興運株式会社 代表取締役 中谷庄吾



岡山の介護を支えるプロフェッショナル

「組織を動かすには
トップが自分の考えを明確に発信すること！」

一般社団法人 岡山県通所介護事業所協議会理事長
株式会社アールケア 代表取締役

山根一人さまインタビュー



岡山県下で初！ヴィラ・プランタンせとうち
見守りセンサーをワンフロア全室に設置



組織を動かすにはトップが自分の 考えを明確に発信すること！



インタビュー：ヴィラ・ブランタン グループ 三上智

山根 一人 さま 一般社団法人 岡山県通所介護事業所協議会 理事長 株式会社アール・ケア 代表取締役

三上：本日は一般社団法人岡山県通所介護事業所協議会 理事長、株式会社アール・ケア代表取締役の山根一人さまにインタビューさせていただきます。山根理事長、本日はどうぞ宜しくお願い致します。

山根さま：こちらこそ宜しくお願いします。

三上：さて岡山県通所介護事業所協議会が発行されている広報誌「DAY SERVICE TIMES」等を読ませていただきました。岡山県通所介護事業所協議会は平成23年4月から活動を展開されてきたということですが、山根理事長が理事長に就任された時の想いや、その時に何をされたのかなどをお聞かせいただけますか？

山根さま：本会を立ち上げたのは私の親友でもある株式会社アイルの生本社長でした。私は生本社長からバトンを渡され理事長に就任した訳ですが、とにかく引き受ける以上は、通所介護事業所協議会を発展させていきたいと言う強い思いがありました。役を与えられたのに何の変化もさせられないというのが、僕はいちばん嫌なんです。そのためには言いにくいことも言ってきました。「そんなことまで」と言われても「いやいや、やってみようや」と言いながら進めてきました。こうして今があります。

三上：岡山県通所介護事業所協議会は2021年9月時点で一般会員99法人、182事業所、賛助会員10法人、個人会員8人へと大きく拡大されましたが、その最も大きな理由は何だったのでしょうか？

山根さま: 僕は人を集結させるためには、やはり目的や目指すべき方向性、ゴールなどを明確にすることが重要だと考えました。特に危機的な状況に置かれた時には、集まる目的を明確にすることで結束することができます。これは会社も家庭も同じだと考えています。そこでまず示したのが基本理念でした。

三上: 協議会の基本理念を改めてお聞かせいただけますか？

山根さま: はい。基本理念は3つあります。「①地域の通所介護の利用者の尊厳ある自立と、生活の質の向上に寄与します」「②介護保険におけるより良い通所介護の在り方について要望を行います」「③会員事業所の交流と、事業の発展に向けた健全な経営を支援します」の3つです。1番目は介護保険法の理念に沿ったものです。2番目は会として政策提言を行政に対して行うという意味です。例えば国会議員や県議会議員の先生方と日頃よりコミュニケーションをとって、国や行政が決めることに対して、疑義があればそれに対しての申せる立場になることを会員に表明したものです。自分たちの利害ではなく、通所介護事業所が介護保険の中で十分な役割を果たせるように政策提言を行っていくことです。そして最後に掲げた理念は事業者の健全な経営を支援することです。責任者育成、社員教育、経営資源の有効利用、企業経営の根幹となる事業所の理念、サービス提供領域、価値提供、ビジョン、そしてそれらを実現するための戦略など、社員教育や経営戦略に向けた研修にも力を入れています。



三上: 通所介護事業所協議会ホームページの山根理事長挨拶の中で特に印象的だったのが、「社員育成において最も重要なのは、トップの経営に対する考え方の周知、加えて具体的な方針と将来像を社員に見えるように説明すること。これらを、資料と動画を使って社内配信をしています」と書かれていた一文です。協議会のホームページでも研修の動画を会員はすべて閲覧できるようにされるなど、さまざまな情報発信が積極的に行われていらっしゃいます。また、活動の内容そのものも非常に幅広く行われていますが、今後、協議会はどのような役割に力を入れていかれるのでしょうか？

山根さま: 役割は会員保護です。会員の利益になる活動をしていきたいと考えています。会員が困っていれば交流の機会を持って経営の指導ができることが大切だと思います。ホームページの挨拶にも書かせていただきましたが、経営者は事業所経営に関して自分達が考えていることを、ちゃんと社員に伝えるべきと考えています。社員と目標を共有して進んでいくべきだというのが私の考えです。広報に関しては会員の中でそうした活動に長けている人が委員会を立ち上げて推進していただき、ホームページなど、さまざまな情報発信が実行されています。研修やセミナーに関してはコロナ禍でストップし、すべてオンラインで実施することになりました。オンラインになったことで、反対に会員ではない方が気軽に参加していただくことができ、結果としてその中から多くの方が会員になってくれました。



大規模研修会の様子 講師：堀部 徹氏

講演テーマ：医療・介護保険制度改正の今後のゆくえ—岡山の地域事業を探る—



OKAYAMA DAY SERVICE OFFICE CONFERENCE

利用者様の自立とよりよい暮らしの向上に貢献する

リニューアルされたホームページではさまざまな情報発信が行われている。<https://okayama-day-service.com/>

三上:私も通所介護事業所協議会が主催されたバーセルインデックスのオンライン研修に参加させていただきましたが、その時には約180名の方が同時視聴されていて、非常に分かりやすかったです。今後はどのような戦略で会の運営に取り組まれるご計画ですか？

山根さま:これからに関しては、確固たる戦略を組んでいる訳ではありませんが、当面は会員を増やして政策提言を行う際の組織力を付けていきたいです。当面の目標は200法人の会員確保です。岡山県内の半数の事業者が当協議会に入会していただければ、当協議会の発言が民意に近いものになると考えています。

また、岡山市からは当協議会に対して、さまざまな相談や依頼をいただけるようになりました。岡山市との研修会の共催は恒常化しています。こうした取り組みを通じて岡山市とは強固な信頼関係が築けたのではないかと考えています。今後はこの事例を元に、各市町村や県にも連携を図っていきたくと考えています。こうした地道な活動を通して政策提言力を付けていきたいですね。

三上:協議会がシンクタンクのような役割を担いはじめているということですね。さらに入会を促進するために、山根理事長は何を行うべきと考えていらっしゃいますか？

山根さま:何よりもまず良き運営をして「私も入ろうかな？」とっていただけることが大切で、そのためには地道な活

動と共に、花火も打ち上げないといけないと考えています。また既に入会いただいている法人の経営者を集めて、経営の勉強会も実施していきたいと思っています。

三上:これからの岡山県通所介護事業所協議会のさらなる取り組みに期待しております。本日はありがとうございます。



岡山県通所介護事業所協議会事務局のみなさま
左から森國様・山根理事長・大月事務局長

【編集後記】

山根理事長のご趣味は大型バイクの名車、ハーレーダビッドソンを走らせること。また中学生の頃からバンドを組んで、今も現役でドラムスを叩かれているそうです。大胆な行動の中にも、常に緻密な戦略を持たれ、岡山県の通所介護事業所をけん引されていることを実感しました。今回は経営者としての大切な考え方などもお伺いすることができ、有意義な時間となりました。山根理事長、お忙しい中、本当にありがとうございました。

三上智